

令和 7 年度
第 2 回人吉市まちづくり推進会議
会議録

日 時：令和 7 年 11 月 26 日(水) 13:30-15:30

場 所：市庁舎 3 階庁議室

出席者：[委員]

人吉市長	松岡 隼人
人吉市社会福祉協議会 会長	柴田 祐
熊本県立大学 教授	吉田 力
東校区支部 支部長	中村 良郎
西校区支部 支部長	竹地 史運
人吉市消防団 副団長	岩下 博明
人吉商工会議所 会頭	鳥越 英夫
人吉温泉観光協会 会長	井上 道代(欠席)
人吉市文化財保護委員会 委員長	福川 義文(欠席)
青井阿蘇神社 宮司	永田 政司
人吉市 PTA 連絡協議会 会長	真木 英男(欠席)
(一社)ひとよし球磨青年会議所 理事長	飯島 直己
国土交通省 八代河川国道事務所 所長	田口 雄一
熊本県 球磨地域振興局 局長	甲斐 奈美枝
熊本県 球磨川流域復興局 政策監	

[事務局]

人吉市 復興支援課

井上 敬明 次長、尾方 政康 係長、山田 千夏 主任

[デザイン会議 座長]

熊本大学 教授

星野 裕司(欠席)

[デザイン会議 プロジェクトマネージャー (PM)]

人吉市 副市長

溝口 尚也

ハートビートプラン

泉 英明

[デザイン会議 随員]

熊本県 球磨川流域復興局
球磨地域振興局総務振興課
人吉市 復興政策部
復興建設部
市街地復興課

平木 佑弥 参事
佐藤 弘康 主幹
田副 勝裕 部長
立場 康宏 部長
日下部 伸樹 次長、山尾 高史 係長、
出口 由也 技師
新津 瞬、田中 颯太

ハートビートプラン

資 料：【資料 1 今年度の会議・全体スケジュール】

【資料 2 今年度の取組内容】

【資料 3 今年度実施の社会実験報告】

【資料 4 メディア掲載一覧】

記録：田中

【決定・承認事項】

1. 今年度の会議・全体スケジュールについて報告
2. 今年度の取組内容について報告
3. デザイン監修内容について報告
4. 今年度実施の社会実験速報・取りまとめ・発信について承認

【会議録】

（１）開会・市長挨拶

（松岡市長）

- ・本日はお忙しい中、第２回まちづくり推進会議にお越しいただき感謝する。また、日ごろより本市が取り組むまちづくりにご理解・ご協力いただき感謝を申し上げる。
- ・今年度の第１回推進会議では、人吉市まちなかグランドデザイン推進アクションプラン（以下、アクションプラン）に描かれた将来像の実現のための推進体制や会議の進め方、各エリアで行われる社会実験や民間の担い手との関わり方について審議した。
- ・その後「HITONOWA ACTION」と題して各エリアで様々な社会実験を実施した。特に１０月１日-１１月９日の間をコア期間と銘打ち集中的に社会実験を実施した。一部これから実施する社会実験もあるが、１１月９日をもって大部分が終了したため、本日の推進会議では、社会実験時に実施した来場者アンケートの取りまとめ等について説明する。
- ・また、今後アクションプランを実現し、地域の持続的なまちづくりを進めていくためには、公民連携事業として民間の投資を呼び込むことが重要である。そのことについてもご意見をいただきたい。

【報告事項】

（２）今年度の会議・全体スケジュールについて

【資料１ 今年度の会議・全体スケジュール】

（溝口 PM）

- ・会議体については、意思決定機関である推進会議、行政・専門家で構成し月１回全体議論を行うデザイン会議、エリア・テーマ毎の議論の場である TF の３階層の会議体を設けた。
- ・各 TF は月１～２回程度実施し、全ての TF 合わせて延べ 50 回以上実施した。
- ・今後は市民・事業者との意見交換の場として、野点会・ヒトヨシクマラボを実施する予定である。
- ・これまでの動きとしては、６月から社会実験実行委員会という民間事業者との共有・議論の場を設け、各担い手から「民間自主事業」を提案いただいた。その提案をもとに 10 月をコア期間とした社会実験を実施した。行政運営事業であるハードの社会実験に加えて、民間自主事業を実施した際にどのような風景や課題が生まれるかを検証した。
- ・中川原公園では 5 月に公園を開放し、最初は歩行者・自転車のみ入園できる運用を行った。その後 8 月からは自動車の進入を許可し、24 時間の開放を行った。その中で、出水期・非出水期における日常管理の方法を検証した。
- ・青井エリア、人吉城跡エリア、城見庭園エリアでは、10 月～11 月頃にかけて交通規制や仮設の階段、デッキ、照明などの社会実験を実施した。
- ・中心市街地エリアでは 8 月から 10 月末まで肥後銀行 1 階を活用し、「まちなかひとはこ図書館」「まちなかサードプレイス」を民間有志とともに共同で運営した。また、鍛冶屋町通りでは妖漫画館の開館に合わせて妖怪祭りも実施された。
- ・市内を周遊するモビリティに課題があるため、ハローサイクリングのポート増設を行い、まちなかシェアサイクルの可能性を検証している。
- ・上記のような社会実験を実施するにあたり、実行委員会を 4 回実施し担い手との意見交換を行った上で、運営方法等の詳細については個別に議論しながら実現につなげた。
- ・今回はその社会実験の速報版について報告する。今後検証内容について精査が完了した後、次回推進会議の場でより詳細な結果について報告したい。

（２）今年度の取組み内容について

【資料２ 今年度の取組み内容】

（泉 PM）

- ・今年度の取組について、大きくはデザイン監修と社会実験に分けられる。デザイン監修というのは、現

在設計を進めている道路や公園等の景観形成に関するハードのデザインの監修を指している。社会実験は、アクションプランの実現に向けた検証項目を定め、ハードのプランや持続的なソフト事業運営に繋げるための方法を検討するための実験的な企画実施を指す。

- ・これまでこの2つのテーマについて各TFで議論してきた。各TFの検討内容については下記の通りである。(抜粋して説明)

■青井阿蘇神社周辺

・デザイン監修

- ・照明を含む道路詳細設計
- ・西部公園のプラン検討

・社会実験

- ・参道部分に列柱や照明、階段・船着き場を設置
- ・観光プログラムの試行
- ・歩行者天国化の実施

■中川原公園・大橋

・デザイン監修

- ・照明の配管の設計

・社会実験

- ・活用プログラムの実施
- ・増水時対応や駐車場の運用に関する検証
- ・球磨川テラスと題した川沿いの利活用

■うぐいす温泉周辺

・社会実験

- ・社会実験の内容検討

■区画整理(紺屋町)・山田川

・デザイン監修

- ・区画整理内の道路・公園の設計

■中心市街地(鍛冶屋町通り)

・全体

- ・「サードプレイス」の継続検討

・社会実験

- ・妖漫画館のオープン

■人吉駅前・SL

・全体

- ・SL人吉の動態展示に向けたエリア全体のコンセプトメイキングやゾーニング
- ・必要機能やボリューム検討

・社会実験

- ・SLや機関庫のライトアップを実施

■城見庭園

・社会実験

- ・城見デッキの設置
- ・地域とカヌー部の交流のための清掃活動の実施

■人吉城跡周辺/麓・老神地区

・社会実験

- ・歴史館の歩行者天国化、滞留空間の設置、仮設階段・散策路の設置
- ・音楽フェスの実施
- ・RVパーク設置検討

■球磨川アクティビティ

・社会実験

- ・球磨川アクティビティの実施
- ・川の安全教室の実施

■景観形成

- ・景観ガイドラインの改定検討

■夜間景観

・デザイン監修

- ・照明のデザイン監修

・社会実験

- ・照明社会実験の実施

■交通・モビリティ・駐車場

・社会実験

- ・シェアサイクルポートの増設
- ・じゅぐりっと号のルート変更検討

■情報発信

- ・各種 SNS での発信、Youtube での動画発信
- ・「まちの編集室」の設置(民間によるまちづくり・社会実験の情報発信)

■ランドバンク

- ・仕組みの検討

■公民連携

- ・公民連携の基本計画の策定

■その他

- ・MIZBERING 人吉会議の開催。(流域治水とまちづくりのつながりについて共有)

(2) 今年度の取組み内容について

○デザイン監修事業位置

(泉 PM)

- ・今年度は人吉駅周辺、青井阿蘇神社周辺、西部公園、国道 445 号線沿い、区画整理(紺屋町)、鍛冶屋町通り、中川原公園、城見庭園のハード整備に関するデザイン監修を実施している。合わせて全てのエリアで夜間景観のデザイン監修を実施している。

○青井デザイン監修進捗

【投影のみ 青井阿蘇神社周辺（青井 TF）の現状について】

(日下部次長)

■青井阿蘇神社周辺の道路・蓮池周りのデザイン検討

- ・神社前の風格を出すための石畳の乱尺張り舗装や蓮池周りの照明・柵・植栽等の工作物のデザインを検討している。
- ・6月28日に奉賛会、8月21日に青井復興まちづくり推進協議会で意見交換を行った。その際にいただいた意見をもとに提案をブラッシュアップしている。引き続き TF で詳細のデザイン検討を実施する。

■西部公園のデザイン検討

- ・西部公園では令和 5 年度から座談会を実施している。そこでいただいた意見も踏まえ、公園施設や緑地の規模、動線、町内行事の際の使われ方等を検討し、西部公園のデザイン案を作成した。
- ・同時に地元で公民館の建築設計も進めている。それと公園の検討を調整することで、建築空間と公園が一体となり、地元住民の交流を生む空間整備を目指している。
- ・今後地元住民と意見交換しながら詳細検討を進めていきたい。
- ・また、3月の推進会議にて最終的な整備案について審議いただきたい。

■質疑応答

(尾方係長)

- ・上記に関して、質問等はあるか。
- (委員から質問無し)

【審議事項】

(4) 今年度実施の社会実験速報・取りまとめ・発信について

○今年度実施の社会実験報告

【資料3 今年度実施の社会実験報告】

(泉 PM)

- ・今年度は、昨年度作成したアクションプランで描いたシーンを実現すべく、検証項目を定め、社会実験を実施し、今後のハード整備や運営への活かし方について検証した。
- ・社会実験に向けた実行委員会は、過去 4 回実施し、延べ 80 人以上が参加した。
- ・社会実験支援チームが、許認可や社会実験の準備・企画支援を行い、社会実験の企画について、都度担い手の方々と合意形成をとりながら実現につなげた。
- ・そして、今年度全 59 企画を社会実験で実施した。今後はその結果について分析を進めたいと考えている。既に来場者に対するアンケート調査や滞留行動調査、通行量調査は実施しているが、今後は主催者や地域住民に対するアンケート・ヒアリング調査を実施する想定である。それらの結果を踏まえて今後の方向性を考えていきたい。
- ・下記が今年度実施した社会実験とその結果に関する概要である。

■中川原公園

(行政運営事業)

・公園開放・滞留空間の設置

実施内容

- ・社会実験期間中にパラソルやベンチ等の滞留空間を設置した。ただ、中川原公園は水害以降 2m 地盤を下げたため、1 年に 1 回は浸水してしまう状況である。そのため、増水時には設置物を分解して運び出す必要があり、その運用についても検証を行った。社会実験で使用するベンチを人吉球磨の木を使って作るワークショップも実施した。

検証結果

- ・公園の利用者は車で来る方が多い。
- ・アクティビティは休憩・散歩が多い。
- ・日陰がほしいという意見が多い。加えて、滞留空間、カフェスタンド、城跡への飛び石がほしいという意見も多かった。

・夜間景観

実施内容

- ・大橋の上からのスポットライト照明、スターテントのライトアップ、行燈の設置等を実施した。

・駐車場運用

実施内容

- ・駐車場を設置し、運用ルールを定め、適切に利用されるか検証を行った。

・増水時対応

実施内容

- ・増水時のタイムラインを設定した。撤去のタイミングとしては人吉観測所で 0m になると待機、1m になると重量可搬物の撤去、1.5m になると軽量可搬物を撤去し、公園の利用を禁止するという運用を検証した。

検証結果

- ・現在の什器の量を運び出すのは困難であるため、来年度から運用方法を変更する必要がある。ただ

什器類が少ないと滞在の快適性が低下するため、什器類の種類や量、運び出さなくてもよい固定方法について検討が必要である。

(民間自主事業)

・夜のピクニック

実施内容

- ・屋台やキッチンカーの出店、よさこい演舞、盆踊り等を実施。
- ・グリーンコープ生協くまとの御園氏が実施。

・おくんち祭り

実施内容

- ・中川原公園に御旅所を設置。
- ・青井阿蘇神社、奉賛会が実施。

・中川原公園に泊まろう！

実施内容

- ・RuralAct(音楽フェス)の参加者限定でキャンプができる企画。4組が参加した。
- ・主催：らぞ LABO、運営：ドットリバーで実施。

・球磨川マルシェ

実施内容

- ・九州全体から飲食・物販等が出店したマルシェ企画。
- ・人吉球磨めしの鳥飼氏が実施。

・球磨焼酎オクトーバーフェスト

実施内容

- ・球磨焼酎 27 蔵の焼酎が集まり、飲み比べができる企画。
- ・球磨焼酎オクトーバーフェスト運営委員会の舟戸氏が実施。

・小さな森づくりワークショップ

- ・どんぐり等を鉢に植えるワークショップを実施。
- ・木人舎の椎葉氏が実施。

検証結果(球磨川マルシェ・球磨焼酎オクトーバーフェスト・小さな森づくりワークショップ)

- ・様々な属性、県内外の方が集まった。
- ・満足度は高かった。ただ、暑い、日陰がないといった環境面での不満が指摘された。

・おおはしひろば（行政運営事業・民間自主事業）

実施内容

- ・大橋を歩行者天国化し、イベントではなく、日常的な活用を想定した企画を実施。合計 20 企画を実施した。
- ・昔大橋は城とまち、中川原公園を結ぶ唯一の橋であったが、今は普通の道路になっている。ただ、今でも人吉球磨の象徴的な風景が見られる特別な場所である。その空間を人のための空間にしたときにどのような効果があるのかということを検証した。
- ・夜は既存の道路照明を消して、新設の照明の雰囲気についても検証した。

検証結果

- ・滞在時間は 1 時間以上が多かった。
- ・来場者は人吉球磨の方が多かった。
- ・3/4 が満足という意見だった。また実施してほしいという意見も多かった。
- ・大橋の今後の利用方法としては、常に歩行者天国を実施するというのではなく、イベント的に歩行者天国にする方が良いのではないかという意見が多かった。
- ・景色が良かったことを特別な価値と感じていることが分かった。

・よさこいまつり

実施内容・検証結果

- ・メイン会場として中川原公園を使用し、大橋や青井阿蘇神社、石野公園でも実施した。
- ・人吉よさこい銀翔会・熊本県立大学未来創士が実施。
- ・来場者は人吉市の方が多かった。

・球磨川テラス

実施内容

- ・あゆの里・鍋屋前：車道を車両通行止めにし、テラス席やカウンターを設置した。当初はあゆの里前では毎週土曜日にウェルカム鮎を実施、鍋屋前は 1 階のバーを営業してその屋外席としてカウンターを利用するイメージであったが、数回しか実施できず、あまり使われる様子は見られていない。
- ・りんどう・御麵前：店のテラス席として利用したり、竹明かりの企画を実施している。利用者や実施者である嶽本氏も常設化を希望している。

■球磨川アクティビティ

(行政運営事業)

・わくわく川遊び

実施内容・検証結果

- ・迫田氏にインストラクターを担ってもらい 2 回実施した。満足度は高く、子供からもまた遊びたいという意見を多くいただいた。今後も引き続き実施したい。

(民間自主事業)

・くまがわアクティビティ

実施内容・検証結果

- ・利用者の満足度は高かった。事業面も含めて今後の実施可能性について検討を続けたい。
- ・球磨川ラフティング協会が実施。

■人吉城跡周辺

(行政運営事業)

実施内容

- ・人吉城歴史館西側の道路の歩行者天国化、滞留空間の設置、仮設階段・散策路を設置した。散策路は県が草刈りと整地を行った。夜は夜間照明も実施した。

検証結果

- ・仮設階段については、満足な意見が多かった。常設にあたっては改善してほしいという意見も見られたが、仮設物の安全性等に対するものであった。
- ・人吉城歴史館西側は常に歩行者天国にしたいと考えていたが、石垣の補修工事の関係で週末しか実施できなかった。本来は歩行者天国化している場所に滞留空間を設置したかったが、実現しなかったため、来年度以降の課題としたい。

(民間自主事業)

・RuralAct

実施内容・検証結果

- ・人吉球磨初の音楽フェスを開催。
- ・らぞ LABO の北氏が実施。

検証結果

- ・総勢 1200 名が参加した。参加者の 8 割は人吉球磨外の方だった。
- ・満足度は非常に高く、ほぼ全員がもう一度実施してほしいという意見だった。
- ・宿泊された方は 3 割弱程度だった。
- ・元々中川原公園で実施する予定だったが、増水時は実施できないというリスクや、出演者と来場者

の動線を分けることができないということが分かったため、今回は城跡の歴史の広場で実施した。史跡内でのイベント実施の取り扱いも含めて、次回以降は改めて実施場所の検討が必要である。

■城見庭園・HASSENBA

(行政運営事業)

実施内容

- ・城見デッキ・櫓、夜間照明を設置した。
- ・カヌー部の学生や保護者、地域住民との清掃活動を実施した。

検証結果

- ・城見デッキ利用者は近隣住民が多い。
- ・城見デッキ利用者は前後で HASSENBA に来訪する方が多い。
- ・アクティビティとしては休憩する人が多い。
- ・温泉に入ってから、城見デッキでビールを飲み、家で作った夜ご飯を城見デッキで食べるという利用をしている人もみられた。
- ・今後城見デッキを常設してほしいという意見がほとんどであった。

■青井阿蘇神社周辺

(行政運営事業)

実施内容

- ・青井阿蘇神社周辺や参道の歩行者専用化、参道軸の演出、夜間照明等を実施している。現在も継続中である。
- ・参道軸は森林組合に加工していただいた大径木を御柱に見立てて並べ、夜間は照明演出を行っている。

■中心市街地

(行政運営事業・民間自主事業)

・まちなかサードプレイス

実施内容

- ・肥後銀行 1 階を 3 か月借りて、「まちなかサードプレイス」「ひとはこ図書館」を地元有志メンバー（人吉に新図書館をつくる会など）と共同で実施した。
- ・「ひとはこ図書館」とは、一箱 3000 円払うことで、自分が他人に読んでほしい本を置くことができ、それを誰でも自由に読むことができるという仕組みである。オーナーはシフト制で館長を務め、3 か月間の継続的な運営を行った。
- ・まちなかサードプレイスでは本を読むほか、勉強をしたり、談笑をしたりと様々な利用ができる場所として開放した。

検証結果

- ・30 分以上の滞在が多かった。
- ・年齢は 60 代以上が多かった。
- ・住まいは人吉市が多かった。
- ・利用方法としては、本を読む、勉強する、涼みに来る、館長等に会い来るといった人が多かった。
- ・今後サードプレイスとしてどんな機能がほしいかという質問に対しては、気軽に立ち寄れる場所、雨の日や暑い日でも使える場所、様々な本を読める場所がほしいという意見が多かった。
- ・9 割の方が今後もまちなかに図書館は必要だと回答した。

・妖漫画館

実施内容・検証結果

- ・妖怪祭りに合わせて妖漫画館をオープンした。
- ・鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会の立山氏が実施。

- ・妖怪祭りを目的に来て立ち寄った人が多かったが、ほとんどの方が満足と回答し、今後に向けた前向きな意見も多くみられた。

■人吉駅前・SL

(行政運営事業)

・駅前写真展

実施内容

- ・人吉駅の待合室を活用し、人吉球磨の風景の写真展を1か月間実施した。
- ・石垣氏、緒方氏らが実施。

・まちなかフットパス

実施内容

- ・ハードの社会実験を実施している場所も含むまちなかを巡る企画を実施した。
- ・フットパス相良路の坂本氏、白石氏が実施。

検証結果

- ・特に城跡周辺の川沿いの散歩道の評価が高く、石垣を下から見るルートが良いという意見が多くみられた。

■あかりの社会実験

実施内容・検証結果

- ・青井、城見、城跡、中川原・大橋等の多くのエリアで実施した。あかりを今後も常設してほしいという意見が多かった。

■交通モビリティ

実施内容

- ・まちなかシェアサイクルとして、人吉 IC、人吉城跡、人吉市役所、くまりばに新たにシェアサイクルポートを設置し、自転車台数も増やし、その利用ニーズや事業性を検証している。
- ・駐車台数についての調査を実施した。SL フェス等の大きなイベントの際は駐車場の数が不足した。
- ・大橋を通行止めにした社会実験時に、周辺の橋の交通負荷を検証する交通量調査を実施したが、特に交通影響はなかった
- ・じゅぐりっと号のルート変更・車両のダウンサイジングを行った。特に大きな問題は見られなかったが、今後の方針については引き続き検討する。

■その他

(行政運営事業)

・MIZBERING 人吉会議

実施内容

- ・流域全体の取組とまちづくりや個々の取組の関係について共有・意見交換を行った。

○今年度実施の社会実験報告

【資料4 メディア掲載一覧】

(泉PM)

- ・資料4に社会実験に関するメディア掲載内容を整理している。今後メディアへの掲載内容をどのように活かすか、今後の展開方法、留意すべきことについて振り返りたいと考えている。
- ・また、市民等に情報が行き届いていない部分もあるため、何か情報発信に関する良いアイデアがあればご教示いただきたい。

■質疑応答

(中村委員)

- ・ SL フェスを実施した際などに駐車場が不足した。駐車場の確保が課題かと思う。

(松岡市長)

- ・ 今年度交通量調査や駐車場台数の調査を実施している。その結果も踏まえ、必要があると判断すれば、市で購入する可能性はあるが、現段階ではまだ判断できない。

(吉田委員)

- ・ 中川原公園の護岸工事が完了したら、現在よりも緑が少なくなる。大木でなくて良いが植樹をしてほしい。

(飯島委員)

- ・ 中川原公園は治水対策として 2m 地盤を下げ、水が流れる面積を増やした。治水という観点からは、何も置かない方が良いが、利活用の観点からは、ある程度日陰や設置物が必要だと思う。今後も引き続き意見交換しながら検討させていただきたい。

(鳥越委員)

- ・ SL フェスの際に駐車場が不足して、途中からモナコパレス東間店の駐車場を利用した。スポーツパレスも多く車を駐車できる。ただ、それ以上駐車台数を増やすことは難しい。そのため、イベントの規模に応じて、必要な駐車台数をあらかじめ想定しておき、規模ごとに適切な開催地を設定しておけば、駐車場運用がスムーズになり、トラブルも減らすことができるだろう。まだ公共交通も整備されていないため、駐車場問題はしっかりと検討する必要がある。民間の土地を市が買い上げるのも 1 つの方法だろう。
- ・ また、熊本市や佐世保市では、駐車場管理を観光コンベンション協会が実施している。そして、駐車場収入を観光の財源として使用している。そのように、駐車場を公設民営で運用することで、その収益を観光事業に使用するという政策も検討してほしい。

(吉田委員)

- ・ 城見庭園の整備については、今回の仮設物をイメージとして民間に提示するためか、同様のものを本設するのかどちらか。

(泉 PM)

- ・ アクションプランで描いているデッキは規模が大きく、今回の社会実験で同規模のものは予算上設置できなかった。そのため、規模を縮小してできる範囲で仮設的につくり、地域の合意を取れるのかということを検証し、その結果賛同を得ることができるのであれば、将来的にはアクションプランで描いたような規模のデッキを設置する想定である。

(溝口 PM)

- ・ 城見デッキに対していただいた意見は精査する必要があるが、特に反対意見はないため、現在は本設に向けた整備を進めたいと考えている。また、デッキ以外に城見庭園にベンチがほしいといったその他の要望についてはこれから意見を伺いたいと思っている。また、国交省とも相談しながら整備に向けて進めていきたい。

(吉田委員)

- ・ 東校区の会長も今の提案に賛同していただけると思う。個人的には規模が小さくても良いと思う。あまり、町内で利用する人向けというよりは、観光客を主要な対象として整備プランを検討してほしい。

(永田委員)

- ・中川原公園でイベントを実施した人から中川原公園の駐車場が少ないため、30 台程度あるとありがたいという声を聞く。また、中川原公園の周囲の雑草が気になる。将来的にはきれいな護岸にしてほしい。また、現在の移動式トイレはきれいすぎて入りにくい。

(溝口 PM)

- ・中川原公園は国交省が護岸工事を実施する。護岸はコンクリートの階段護岸となるため、すっきりとした護岸になる想定である。今年度は上流、その後 2～3 年かけて下流の工事を実施する。

(泉 PM)

- ・現在は護岸にじゃかが敷き詰められているが、それが撤去される。新たな護岸は芝生のレベルから平行に川までつながるようになり見晴らしも良くなる。トイレは現在設置しているトイレトレーラーを引き続き利用する想定である。駐車場については平常時は 15 台までの運用だが、イベント時は主催者に駐車台数の管理を任せている。

(永田委員)

- ・駐車台数のルールなど、イベント実施者等の声を聞いた方が良いかもしれない。

(泉 PM)

- ・中川原公園のスロープの下に車が集中すると歩行者との交錯が危ない場面が見られた。今後駐車台数に加え、駐車位置についても検討したい。

(岩下委員)

- ・中川原公園に 1 か月間など中長期的な出店があると人が来るのではないかと。観光客も来て宣伝になるだろう。さじ馬等を販売するのも良いのではないかと。

(泉 PM)

- ・今年度は長期的な出店は実施していない。出店ニーズがあれば何か検討しても良いかもしれない。

(竹地委員)

- ・年間 5 回以上はイベントを実施しているが、やはり駐車場が少ないと感じる。ある程度の収容量がある公共の駐車場がまちなかに必要なのではないかと。

(松岡市長)

- ・今後検討したい。

(田口委員)

- ・ランドバンクには何か動きはあるか。既に区画整理の目途がついてきている。今後空き地の活用をどのように進めるのかということ、不動産事業者、宅建協会、金融機関を巻き込んで検討すると良いだろう。

(溝口 PM)

- ・宅建協会とは既に話をしているが、まだ検討段階である。市に借りてほしい、買ってほしいという話は聞くが、実際に借りるかどうかの検討などはできていない。
- ・発災直後に地権者の意向調査も実施しているが、地権者の意向も変わっていると思う。今後地権者とのやり取りが必要だと考えている。
- ・市としては、購入は難しいが、まちなかの賑わい創出のために借りるという選択肢はあり得ると思って

いる。区画整理の換地が済んだ後に、住宅や店舗として空いた土地の利活用が進めば良いが、月極駐車場が増えるだけというような状況は避けたい。

(柴田委員)

- ・ 10月25日-26日に大橋を通行止めにした。また、青井阿蘇神社周辺も通行止めの社会実験を実施している。その際に、地元の方から不便と感じるというような意見は聞いているか。

(中村委員)

- ・ 聞いてない。

(吉田委員)

- ・ 聞いてない。イベントとして1日だけ使うなら良いのではないかという感じかと思う。

(柴田委員)

- ・ 今後地域の方の意向調査をすると思うが、地元の方からの評価が一番重要かと思うので、力を入れてほしい。
- ・ 中川原公園の日常管理で、水位が上がった際に什器類を移動することが難しいということが分かったことは大きな成果だと思う。関係者間で今回の社会実験の成果について共有しているが、今度は地元の方からの率直な意見をいただきたい。
- ・ 来年度の社会実験の進め方などの方向性が決まっていれば紹介してもらいたい。

(泉 PM)

- ・ 今年度は、昨年度に作成したアクションプランで描いた行政運営事業や、民間の担い手とのやり取りの中で生まれた企画のアイデアを極力実現させることに注力した。その中である程度効果を検証することができたため、来年度はさらに検証が必要なものだけを抽出して社会実験を実施すればよいと考えている。検証が済んだものはハードの設計や運営方法などに反映していく。例えば、城見デッキは来年度から常設に向けた設計に入る想定である。
- ・ また、来年度は公民連携事業に力を入れたい。今年は小さな活用や運営が多かった。次年度以降はある程度の事業規模が大きいものを公民連携事業として実現できるかというところに注力したい。

(田口委員)

- ・ 社会実験を実施した際に地元の店舗にお客さんが来ていないという声を聞く。社会実験を実施する際に地元の店舗のお客さんが増えたという話があったか。地元の店舗にそのような事を聞くと良いかもしれない。

(松岡市長)

- ・ 今後そのようなことも考えていきたい。

(甲斐委員)

- ・ 公民連携の基本計画について詳しく聞きたい。

(溝口 PM)

- ・ 公民連携事業を実施する際にどのように市と民間で連携するのかということを対外的に発信していない。公に公平に民間事業者を公募するために、市の考えを表明するものである。今後はその基本計画を用いてサウンディングを実施し、その実現性を確認できればプロポーザルを実施するという流れになる。

(甲斐委員)

- ・いつまでに作成するのか。また、サウンディングは基本計画が作成できたらすぐに実施する想定か。

(溝口 PM)

- ・今年度簡単な一枚紙を作成する想定である。サウンディングは各エリアのハード整備の進捗に合わせて実施する想定である。

(永田委員)

- ・多くの公園整備が進んでいるが、公園よりも駐車場が必要なのではないか。

(溝口 PM)

- ・紺屋町はこれまで公園がなかったため必要だと考えている。
- ・青井エリアは西部公園を公民館に隣接して整備することは決まっている。
- ・青井の参道沿いの公園の用途や設えは未定だが、観光客等に向けた整備になる想定である。

(中村委員)

- ・まちなか周辺の土地を公共の駐車場にしてほしいと交渉した方が良い。

(松岡市長)

- ・検討したい

(松岡市長)

- ・上記に関して、承認ということで問題ないか。

(委員)

- ・承認

(尾方係長)

- ・次回推進会議は3月17日(火)10時から実施する。委員の方には1か月前に通知をお送りする。
- ・本日はこれで以上とする。活発な議論をいただき感謝する。

以上